



生ごみを小動物に荒らされないために

■生ごみを小動物に荒らされないために

カラスや猫などの小動物は、皆さんが出した生ごみを餌として認識しています。出された燃えるごみの袋をつつき破り、中のあるものを荒らし、目当ての食べ物だけをあさって他のものはそのままにするため、その場にごみが散らかってしまいます。生ごみを食い荒らされないために、次のことを守りましょう。

■動物避けネットの正しい使い方

正しく使えば有効な動物避けネットも、使い方を誤ると効果が無くなってしまいます。以下のことに注意して使いましょう。

- ・ネットの端を重りで押さえ、風でめくれないようにしましょう。
- ・ごみ袋を入れたときは、必ずネットを閉めましょう。
- ・ネットが破れていないか、定期的に点検をしましょう。

※環境保全課では、動物避けネット購入費など、ごみステーションを整備するための費用に対し、購入費用の一部を補助金として交付しています。詳しくはお問い合わせください(集合住宅、事業所向けのごみステーションは除く)。

■生ごみは見えにくくしよう

生ごみは十分に水切りし、新聞紙などで包み、できるだけ見えないようにしてください。

※環境保全課では、生ごみ減量化の一環として、コンポスト、ダンボールコンポスト、電動式生ごみ処理機を購入した人に対し、購入費用の一部を補助金として交付しています。詳しくは、お問い合わせください。

■出す日時・分別を守ろう

本来の収集日以外に生ごみを出したり、ごみの分別ができていないと、ごみが回収されず、その場にごみが残ってしまう原因となります。ごみを出すときは、決められた日時に、きちんと分別して出しましょう。



輝く人権

連載「人権シリーズ」

●問い合わせ

役場人権推進課人権推進係
☎096(293)0863

■「第31回大津町人権・同和教育推進大会」を開催

第75回社会を明るくする運動、第16回子どもの未来を創る推進大会との合同大会を7月5日に町生涯学習センターで開催し、270人が参加しました。
当日は、社会を明るくする運動伝達式、大津町更生保護女性会活動報告、大津警察署より管内の現状報告なども行いました。

●人権作文の発表

人権作文「かいほう」より、町内小学校の児童生徒による人権作文の発表を行いました。

- 「かいほう」は学校で学んだ人権学習や日々の暮らしの中で感じたり考えたことを自分の言葉でつづり、作文としてまとめた文集です。
- 井手 心陽さん (美咲野小)
- 「むるとかに」を学ぼうとして
- 松本 琴華さん (大津北小)
- 「消しても消えない」を学習して
- 古庄 薫さん (大津北中)
- 「周りを笑顔にする人になりたい」
- 渡辺 美咲さん (大津中)

●講演会
熊本保護観察所長の富田義博さんを講師に「更生保護を支える人々」をテーマに講演会を行いました。更生保護の役割として、刑務所や少年院を出た人の生活環境の調整を行い、円滑な社会復帰を目指すことが大事になること、また、更生には本人の意志だけではなく、彼らの立ち直りへの意欲を理解し受け入れる社会が必要になることなどについて講演しました。

参加者からは「社会全体で犯罪や非行を防ぐ取り組みや、偏見・差別をなくす取り組みを推進する必要があると感じた」といった感想がありました。

※保護司を始めとする更生保護ボランティアの国際的な認知度向上に各国が協力して取り組むために、毎年4月17日を「国際更生保護ボランティアの日」と定めています。

講演をする富田義博さん

Savannah Studio Vol.02
サバナ スタジオ CIR(国際交流員) サバナ・エリス

国際交流員のサバナが「アート」を通してアメリカの文化などを紹介する「Savannah's Studio」。第2回となる今回は、ネブラスカ州にある有名なランドマーク「チムニー・ロック」をご紹介します。

チムニー・ロックは、巨大な岩山や崖が特徴的で、煙突がたくさん並んでいるようなとても珍しい形をした自然の岩です。名前の「ロック」は岩を意味し、「チムニー」は煙突のような形をしていることから、その名前がつけました。

ネブラスカ州はほとんど平坦な地形のため、その不思議な形から古くから人々に親しまれてきました。1800年代半ば、開拓者たちがアメリカを横断した際、この岩を道しるべとして利用していました。旅の記念として岩に名前を彫った人もいましたが、残念ながら浸食によってその名前は消えてしまいました。現在の高さは約143メートルですが、1800年代には約173メートルあったと言われています。落雷や浸食の影響で、過去200年の間に小さくなってしまいました。チムニー・ロックは、火山灰の層や砂岩の層が重なってできています。最も古い層は約3,400万年前のもので、最も新しい層でも約2,300万年前のものとして知られており、ハイキングや写真撮影スポットとしても人気が高く、多くの人々から愛されています。

「チムニー・ロック(サバナ作)」
地元の学校では校外学習の定番スポットとなっています。

ショートステイ・トワイライトステイを知っていますか？

保護者の病気などで、子どもの養育が一時的に困難になった場合、緊急一時的に児童養護施設を利用することができる制度です。

例えば、こんな時に利用できます
保護者の一時的な病気や入院、看護、事故、災害、仕事、出張、冠婚葬祭、育児不安などの身体的・精神的な事由など

利用したい時間帯に合わせた2つの制度があります

ショートステイ (宿泊を伴う預かり)	トワイライトステイ (平日の夜間や休日の預かり)
対象児童 町在住の18歳未満の子ども 対象施設 熊本天使園(合志市)・熊本乳児園(熊本市本荘)・広安愛児園(益城町)・慈愛園(熊本市中央区) 利用方法 事前登録が必要です。役場子育て支援課にご相談ください。	利用料金 2歳未満 5,000円/日 2歳以上 2,500円/日 ※料金は課税状況によって決まります。
利用期間 原則1回7日間以内	利用料金 夜間750円/回 休日1,350円/回 ※料金は課税状況によって決まります。 利用期間 各施設にご確認ください。 ※例：(夜間)保育施設など終了時～午後9時まで (休日)おむね午前8時～午後5時まで

子育てイベント情報チラシで最新情報をゲットしよう！

子育てカフェ(月1回、無料・要予約)
保健師や保育士などが対応します。気軽にお越しください！

日時 8月28日(休) 午前10時～午後3時30分

場所 町老人福祉センター

協力 NPO 法人ペアレントネットワーク

申込 電話または二次元コード

役場子育て支援課 ☎096(293)5981